



豊かな実りある

町づくりのために

横芝町長 佐瀬哲司

わが国は、内外ともに、多事多難のうちに、新年を迎えたわけであります。昨年、鈴木首相が、政治生命を賭けた、増税無き財政再建をキヤッチフレーズとする行政運営は、さらに厳しくなること予想されます。

財政改革について、その第一歩が実行されたことは、一段と深刻となる経済情勢と相まって、行財政運営は、さらに厳しくなること予想されます。

このため、各地方自治体においては、財政再建の中で、厳しく施策の選択を迫られることは必至であります。本町にとっても、極めて重要な年になるものと思われます。

このように、厳しい状況下ではありますが、五か年計画に掲げる重点事業については、健全財政を維持しつつ、積極的にこれを推進し、豊かな実りある町づくりのた

めに、心を新たにして邁進する覚悟であります。

本町が誕生してから満二十六年、この間、多少の曲折を経てはきましたが、今日の横芝町に成長できることは、歴代の町長を中心として、議会と全町民とが一体となって、明るい町づくりのために努力を惜しまなかつたからであります。

天下を治める道も、小さな田舎町を治める道も、基本的には何ら変わりありませんが、「和を以つて貴しと為し……」という名言のよう、「和」こそ、町を治める根幹であると思います。

町民一人ひとりの心がバラバラ

明けましてお年玉うござります

輝かしい新年を迎えるにあたり、議会を代表し、町民のみなさまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私は、昨年六月町議会において、図らずも議長の重責を負う事とな

り、いまさらながら、その使命の重大さを痛感いたしております。

その後、私は議会の円滑な運営と、町民のみなさまの声がより多く町政に反映されるよう、ひいては町政伸展のために努力を続けてまいりました。

昨年は、経済不況のうちに一年が過ぎ、国民生活においても非常に苦慮された年であつたと思いま

す。

こうした経済情勢の中、国に

おいては行財政改革論が浮上し、行政事務の整理統合、予算の削減あるいは業務の地方移管、国庫補助等の削減が論ぜられてまいりました。国の厳しい行財政改革を受けた地方行政は、その執行姿勢に大きな転換をせまられる事になります。

町の基盤も、あの高度経済成長時代に築き上げてきましたが、その経済、社会、文化を今後も一層充実し、活力ある町づくりのため、町当局も議会も一丸となつて、最善の努力をいたすことは当然であります。

しかし、国におけるゼロシリー

ング予算の編成方針を見るに、地

方自治体も、窮屈な予算編成をし

いられるることは必至であると思わ

れます。このような状況の中で、

より効果的な 計画行政の執行を望む

議会議長 杉森才二



めに、心を新たにして邁進する覚悟であります。

平和な町づくりはできません。人が、やわらぎ、心を一つにすることが最も大切であります。

本年は、わたくし以下、町職員

は、自律自戒し、町民全体の奉仕者としての職責を全うして、みなさんのご期待にこたえるよう、鋭意努力する所存でありますので、

今後とも、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、年頭の

ごあいさつといたします。

ごあいさつといたします。